

令和5年度組織目標

部局名	健康医療福祉部
R5年度に特に注力する事項（目標）	<p>○子ども施策の強力な推進</p> <p>「(仮称)子ども基本条例」の検討、妊娠期から切れ目ない相談・支援体制の整備、困難な状況にある子ども・若者の意見表明等支援などを進め、成果を県民に見せていく。</p>
	<p>○コロナを克服する「健康しが」の推進</p> <p>各種の計画の改定を契機として、切れ目のない医療・福祉提供体制、先を見据えた健康危機対策、健康づくりや疾病対策を推進し、さらなる県民の健康寿命の延伸を目指す。</p>
	<p>○共生社会づくりの推進</p> <p>令和7年度国スポ・障スポの開催を見据え、手話言語や情報コミュニケーション条例の制定や淡海ユニバーサルデザイン行動指針の改定など、重点的に共生社会づくりに取り組む。</p>
	<p>○医療福祉拠点整備の推進</p> <p>目標：令和9年度開設に向けてスケジュールに沿った進捗を図り、令和5年内に事業者を決定する。</p>
	<p>○【見直し・効率化】コロナ後の事務事業の精査</p> <p>目標：コロナ禍を機会にやめるべきもの・コロナ前に戻すべきものを精査し、事務事業の最適化を図る。</p>

所属名	健康福祉政策課
R5年度に特に注力する事項（目標）	<p>○医療福祉拠点整備の推進</p> <p>令和9年度開設に向けてスケジュールに沿った進捗を図り、令和5年内に事業者を決定する。</p> <p>目標： [参考] 7月：市場調査まとめ/9月：事業者公募開始/12月：事業者決定</p>
	<p>○共生社会の実現に向けた取組（ユニバーサルデザイン）の推進</p> <p>目標： R5.10までに改定する「淡海ユニバーサルデザイン行動指針」について周知し、県民等への理解促進・機運醸成を図る。 「ユニバーサルデザインの認知度（70.7%）※の向上」 ※LINEアンケート調査（令和5年1月）</p>
	<p>○【見直し・効率化】所管業務にかかる電子化等の推進</p> <p>下記の取組について検討を進め、可能なものから順次実施していく。</p> <p>目標： ①保健所におけるケース記録デジタル化の検討（実施はR6） ②車いす使用者等用駐車場の登録届出・利用証交付申請の効率化 ③医療扶助オンライン資格確認の導入 ④平和祈念館におけるDX活用の推進 ⑤法人等指導監査における調書等の見直し など</p>

所属名	医療政策課
R5年度に特に注力する事項（目標）	○切れ目のない医療提供体制の整備 <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の感染拡大による課題も踏まえつつ、医療ニーズの変化に対応した保健医療計画の改定 <p>目標： <ul style="list-style-type: none"> ・医師の働き方改革に対応するため、医療機関の勤務環境改善の取り組みや特例水準指定を支援 ・小児救急のブロック化の推進 </p>
	○将来の地域医療を見据えた医師・看護職の安定的な確保 <p>目標： <ul style="list-style-type: none"> 臨床研修医採用数 110人 看護職員の離職率 10%前後を維持 </p>
	○【見直し・効率化】 会議の見直し <p>時間外の開催を取り止め、勤務時間内に開催する。</p> <p>目標： <ul style="list-style-type: none"> 会議開催の目的や内容を改めて確認し、不要な会議を廃止する。 </p>

所属名	健康危機管理課
R5年度に特に注力する事項（目標）	○新型コロナウイルス感染症の5類への分類変更に伴う医療提供体制等の円滑な移行と先を見据えた健康危機対策の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・9/30までに、幅広い医療機関による自律的な通常の対応に移行 <p>目標： <ul style="list-style-type: none"> ・健康危機・災害医療事案の迅速な情報共有と初動体制の再構築 ・3/31までに、庁内外との連携に基づく感染症予防計画の改定 </p>
	○衛生科学センターとの連携強化 <p>目標： <ul style="list-style-type: none"> ・情報センター機能と連携したより効果的なリスクコミュニケーションの実施 ・令和9年度中の供用開始に向けた建替事務の着実な推進 </p>
	○【見直し・効率化】 事務効率化の推進：申請受付業務等の電子化促進 <p>目標： <ul style="list-style-type: none"> ・R6.3までに、外部申請100件以上の事務にかかる申請様式の見直し、申請電子化を促進する </p>

所属名	健康寿命推進課
R5年度に特に注力する事項（目標）	<p>○ 健康づくり、疾病対策等の計画策定に子ども・若者の意見を反映</p> <p>今年度に改定予定の下記5計画に、活動団体や大学等と連携して子ども・若者の意見を反映させ、誰もがいきいきと活躍できる「健康しが」を加速する。</p> <p>目標：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康いきいき21-健康しが推進プラン ・滋賀県食育推進計画 ・滋賀県歯科保健計画－歯つらつしが21－ ・滋賀県がん対策推進計画 ・滋賀県循環器病対策推進計画
	<p>○ 口腔衛生センターの機能移転</p> <p>目標： 障害(児)者への高度な歯科治療や歯科保健サービス等を継続するため、施設の老朽化が進む口腔衛生センターの機能を移転する。</p>
	<p>○ ”健康しが”の機運醸成</p> <p>健康しが共創会議を通して、県民へ健康しがの機運醸成を図る。</p> <p>目標：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康しが共創会議の参画団体による活動の取組事例紹介を行う（目標値：6団体以上） ・参画団体による新たな連携取組を増やす（目標値：10以上）
	<p>○ 【見直し・効率化】ICTの活用による効率的な会議運営</p> <p>目標：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Web会議等も活用して効率的な会議運営等を行うほか、電子データを活用した分かりやすい資料を作成することにより、紙媒体の資料を削減する。 ・会議録システムを活用し、会議録作成にかかる事務手間を減らす。

所属名	医療福祉推進課
	<p>○ 滋賀の医療福祉を支えるサービス提供体制の確保・充実</p> <p>目標： 介護職員数 22,800人</p>
	<p>○ 地域包括ケアシステムの深化・推進</p> <p>目標： 医療福祉の地域創造会議ワーキング参加者数 500人</p>
	<p>○ 【見直し・効率化】介護現場の“生産性向上”につながる電子化の推進</p> <p>目標： 当課職員・介護現場双方の業務効率化を意識した手続きの電子化を検討・実施</p>

所属名	障害福祉課
R5年度に特に注力する事項（目標）	○ 手話言語や情報コミュニケーション条例の制定 目標： 手話言語や情報コミュニケーション条例の制定
	○ 医療的ケア児者への支援の充実 目標： ・重症心身障害児者・医療的ケア児等支援センターでの相談対応 ・医療型短期入所事業所の開設促進 2か所以上 ・医療的ケア児者支援コーディネーターの養成 20人以上
	○ 【見直し・効率化】事業所等からの届出手続等の電子化の推進 目標： 新規指定・変更等の届出において、しがネット受付サービス等による提出を可能とするなど受付事務の効率化・省力化を図る。

所属名	薬務課
R5年度に特に注力する事項（目標）	○ 地域連携薬局の認定取得推進 目標： 令和5年度末までに75薬局
	○ 骨髄ドナー登録の推進 目標： 骨髄バンクの対象人口千人当たりにおけるドナー登録者数：13人 (R5.2月末：12.49人)
	○ 医薬品等の品質向上に向けた人材育成・技術支援 目標： 製薬技術セミナーの開催回数、参加者数（WEBでの参加者数含む）：15回開催、600人参加（過去4年間最高 R4：591人） 機器の貸出利用回数：年間延べ265回（過去4年間最高 R3：262回）
	○ 【見直し・効率化】会議・講習会等の開催方法等の検討・見直し 目標： 関係者の意見等を聞きながら、開催方法等について随時検討・見直しを行う。

所属名	生活衛生課
R5年度に特に注力する事項（目標）	<p>○動物愛護管理の推進</p> <p>目標： 滋賀県動物愛護管理推進計画については、現計画が今年度で終了するため、現計画の達成状況、飼い主のいない猫や多頭飼育問題等の課題を踏まえ、動物にも人にもやさしい社会の実現に向けて、令和6年～15年度（10年間）の計画を今年度中に策定するとともに、今年度末には以下の目標達成を目指す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・犬の返還譲渡率の維持：（R4年度:74.7%） ・猫の返還譲渡率の向上：（R4年度:39.6%） ・実質的な致死処分の削減：（R4年度:犬24、猫113）
	<p>○水道事業における広域連携の推進</p> <p>目標： 将来にわたり持続可能な水道事業を実現するため、「滋賀県水道広域化推進プラン」に基づき水道事業者が抱えている課題を共有し、解決に向けて検討する。</p>
	<p>○HACCPに沿った衛生管理の定着・促進</p> <p>目標： 大規模食中毒等による健康被害を防止するため、広域流通食品等製造施設に対し、専任の食品衛生監視員により、効率的・効果的な専門監視を行い、HACCPに沿った衛生管理の実施状況を確認する。</p> <p>計画監視件数：996件（対象施設：403施設、674許可・届出）</p>
	<p>○【見直し・効率化】 デジタル技術を活用した業務見直し</p> <p>目標： （業務の見直し・効率化の取組）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デジタル技術などによる申請等利便性向上 ・滋賀県衛生関係システム等の利便性向上

所属名	医療保険課
R5年度に特に注力する事項（目標）	○ 保険料水準統一に向けた取組推進 目標： 第3期国民健康保険運営方針に具体的な保険料水準統一時期を記載する。
	○ 国民健康保険保健事業の取組推進 目標： 新型コロナウイルス禍の影響で低下した特定健康診査の受診率を令和元年度水準まで回復させる。
	○ 【見直し・効率化】会議のオンライン化、会議資料の電子化の更なる推進 目標： 会議の9割をオンライン化、会議資料の9割を電子化をする。

所属名	子ども・青少年局
R5年度に特に注力する事項（目標）	○ 子ども一人ひとりが実感できる子どもを真ん中においた政策の推進 目標： ・滋賀県子ども政策推進本部の機能を発揮し、「子どものために、子どもとともに作る政策」を推進 ・「すまいる・あくしょん」の更なる推進
	○ 「(仮称)子ども基本条例」の検討における子どもの意見の反映 目標： 県政に子どもの意見を反映する措置を試行的に実施
	○ 妊娠期から切れ目ない相談・支援体制の整備 目標： ①伴走型相談支援事業と一体的に行う経済的支援に係る広域連携システムの構築 ②当該システムに参加する市町の数 10市町以上
	○ 困難な状況にある子ども・若者の意見表明等支援 目標： 一時保護や施設入所措置等決定時における子どもの意見表明支援の仕組みの構築

局内室名	子ども・青少年局 子ども未来戦略室
R5年度に特に注力する事項(目標)	○「(仮称)子ども基本条例」の検討における子どもの意見の反映 目標： 県政に子どもの意見を反映する措置を試行的に実施
	○滋賀で家族になろうとする者の応援 目標： 「しが・めぐりあいサポートセンター『しが結』」の登録会員数 R4：708人 → R5：1,500人以上
	○【見直し・効率化】事業のアウトソーシングの拡大 目標： 滋賀で家族になろうとする者を応援する取組をパッケージとして委託により実施

局内室名	子ども・青少年局 子育て支援室
R5年度に特に注力する事項(目標)	○ 妊娠期から切れ目ない相談・支援体制の整備 目標： ①伴走型相談支援事業と一体的に行う経済的支援に係る広域連携システムの構築 ②当該システムに参加する市町の数 10市町以上
	○ 待機児童ゼロを目指した保育人材の確保 目標： 保育従事者の離職率：前年度を下回る水準 (R3:10.1%)
	○ 放課後児童支援員等の資質向上 目標： 放課後児童支援員等資質向上研修 受講者数 300人
	○【見直し・効率化】書類の電子化による事務の効率化 目標： 「認定こども園に係る運営状況報告」など市町や施設に求める書類の電子化のさらなる推進による事務の効率化および利便性の向上

局内室名	子ども・青少年局 家庭支援推進室
R5年度に特に注力する事項(目標)	○ 困難な状況にある子ども・若者の意見表明等支援 目標： 一時保護や施設入所措置等決定時における子どもの意見表明支援の仕組みの構築
	○ 市町の子ども・家庭相談支援体制の強化 目標： ①ヤングケアラー専門研修の受講者数 180人以上 ②子ども家庭総合支援拠点の設置市町数 14→19市町(100%)
	○【見直し・効率化】困難な状況にある子ども・若者の意見表明等支援 目標： 社会的養護下の子ども(約300人)に対する定例の意向調査の効率化(しがネット受付サービスの活用)